壁新聞にご利用ください。

明るい港

よこはま

発行
公益社団法人
横浜港防犯協力会
横浜市中区海岸通1－1
電話（201）2982番
印刷所　㈲ハマ印刷
TEL(260)0266

新年のご挨拶

公益社団法人横浜港防犯協力会
会長（代表理事）　藤木　幸太

新年明けましておめでとうございます。

会員の皆様、横浜水上警察署並びに関係諸団体の皆様方におかれましては、健やかに新年を迎えになられた事と心よりお慶び申し上げます。

当協力会にとり昨年一年間は公益社団法人に認定されて、実質的な初年度であり、臨時総会・定時社員総会・理事会の開催等において本当に会員の皆様と役員の皆様に大変なご協力を賜りました。お蔭様で防犯協力会、無事に公益社団法人として、予定の防犯活動と組織運営を実施することが出来ました。茲に、心より厚く皆様に感謝申し上げます。

さて、昨年はアベノミクスによる経済活動の活性化と、消費税率の引上げによる景気後退が交互に綱引きをする状態が続き、世相的にも何か不安定な一年でありました。神奈川県内の刑法犯認知件数は一昨年増加傾向にあり、大変心配いたしましたが、幸いにも防犯ボランティアと警察官の皆様の献身的なご努力により、明らかに改善の方向に転じております。最終的に認知件数においては近年最高の良い結果となりました。

しかし、高齢者を中心に被害が広まっている、『振り込め詐欺』は警察・銀行・防犯ボランティア防犯努力にも拘わらず、件数においても、被害金額においても、過去最悪を記録し、神奈川県の『振り込め詐欺』被害情況は全国第二位の不名誉記録を樹立してしまいました。

横浜港は日本を代表する国際クルーズ港として、現在多くの国内外のクルーズ船を集め、物流貿易で名を馳せた横浜港は、現在では物流の横浜港のみではなく、観光の横浜港を実現し、海外からも大変多くの観光客を集めております。本当に賑やかな港となりました。

横浜港防犯協力会は安全安心な横浜港とその周辺地域の実現を目指し、此れまでも効果的な防犯活動を展開してきましたが、この様に港の状況が大きく変化し、横浜港のより良い安全安心の為には、近隣地域住民と地域機関組織との共同防犯活動の実施が不可欠となっております。

本年度は先ず周辺地区（横浜市中区内）の防犯協会及び防犯諸団体との連携並びに共同防犯キャンペーン等に重点を置き、防犯活動の活性化を達成したいと思います。何卒、関係各位のご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

年頭にあたり、皆様のご健勝をお祈り申し上げ、新年のご挨拶とさせていただきます。

新年のご挨拶

横浜水上警察署長　井出　彰

新年あけましておめでとうございます。横浜港防犯協力会の皆様におかれましては、御家族共々輝かしい新年をお迎えのこと心よりお慶び申し上げます。

皆様には、平素から地域安全活動をはじめ、警察行政全般にわたりまして多大なご支援、ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、昨年の治安情勢を振り返ってみますと、県内では、刑法犯認知件数が前年比で減少し、個別犯罪では、路上強盗のほか空き巣や事務所荒し等の侵入盗、そして自動車やオートバイ等の乗り物盗などが減少しましたが、振り込め詐欺については、前年と比較して発生件数、被害額ともに大幅な増加傾向が続き、県警察では一〇〇人体制のプロジェクトを立ち上げ鋭意、検挙のための捜査活動に取り組んでいます。また県下でもストーカー絡みと思われる殺人事件等が報道されるなど、必ずしも県民の体感治安が向上したとはいえない状況です。

当署管内では、昨年中、重大な凶悪事件等の発生はありませんでしたが、大勢の観光客や買い物客が訪れ、商業施設を中心に各店舗等における「万引き」等の窃盗事件が、六月末ごろまで多発傾向でした。しかしその後、商業施設の管理会社やテナント店の皆様に、施設内においての制服警察官による「見える・見せる・声かける警戒」実施へのご理解や自主防犯対策の強化をお願いし、併せて防犯ボランティアの皆様のご尽力をいただきましたおかげで、下半期には刑法犯認知件数を前年比で減少傾向とすることができました。

昨年中は新港地区周辺を中心に、五月には世界トライアスロン・シリーズ横浜大会、七～八月は横浜スパークリング・トワイライト、神奈川新聞の二大花火大会、そして一一月には最後の開催となった横浜国際女子マラソン大会など大イベントが開催され、国内外から大勢の観光客が訪れ、当署も署員一丸となって警備に従事し、皆さまのお力添えを得て、その目的を達成することができました。今年も三月開催のみなとみらい地区を発着するフルマラソンに一新された横浜マラソンのほか、新港地区や大さん橋地区等で開催される各種イベントに万全を期さなければなりません。

また、二〇二〇年の東京オリンピック開催に向け、国内の経済活動は活性化し、山下ふ頭が商業地区として生まれ変わる計画等、このミナト・ヨコハマがますます発展するとともに、その治安への影響が予想されます。

したがいまして今後も、ボランティア団体の皆さまとの結束を強固なものとし、今年も「犯罪のない明るい港町づくり」に邁進する所存ですので、一層のご支援ご協力をお願い申し上げます。

最後となりましたが、公益社団法人横浜港防犯協力会の益々のご発展と会員皆様方のご家族、従業員の方々のご健勝ご多幸を心より祈念申し上げ、新年のご挨拶とさせていただきます。

新年のご挨拶

横浜税関監視部長　山本　雅男

新年明けまして、おめでとうございます。

横浜港防犯協力会会員の皆様には、明るい新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

会員の皆様からは平素より税関行政、特に船陸交通制度などの監視行政に多大のご理解とご協力を賜っており、厚く御礼申し上げます。

さて、昨今、覚醒剤や危険ドラッグなどの不正薬物に絡む事件が社会的な問題となっており、また、コピー商品などの知的財産権侵害物品の密輸入、廃棄物や盗難自動車の密輸出なども問題となっております。このような情勢の中、税関が行うべき取締対象は大きく広がっており、水際での取締りの重要性を鑑みますと、税関の責務を強く感じ、年頭にあたり身の引き締まる思いであります。

昨年の横浜港での摘発状況を見ますと、一月にメキシコからコンテナ船で運ばれた石材に隠された覚醒剤約二五kgが、また、一〇月には米国からの中古自動車の座席下から覚醒剤約一七kgが摘発されております。これらの他にも、コピー商品の密輸入、廃棄物の密輸出なども相次いで摘発されており、横浜港での密輸出入等の危険性は依然としてあると考えざるを得ない状況です。

横浜税関では、この状況に対応するために、警察、海上保安部等の取締関係機関との連携を強化して取締りを行う方針ですが、取締りを効果的に行うには国民の皆様からの情報の提供が何より重要と考えております。特に会員の皆様方には、日頃、横浜港でお仕事をされている方々、横浜港に深く関係されている方々も多いと考えます。お仕事の際に、不審な人物・車両を見られた時、不審な情報を聞かれた時などには、ぜひ、どこの税関でも結構ですので、ご一報していただきますようお願い申し上げます。

最後となりましたが、年頭にあたり、横浜港防犯協力会会員の皆様方の益々のご発展とご健勝を心より祈念申し上げまして、新年のご挨拶とさせていただきます。

新年のご挨拶

横浜市港湾局長　伊東　慎介

新年明けまして、おめでとうございます。横浜港防犯協力会の皆様におかれましては、健やかに新しい年をお迎えのことお慶び申し上げます。

皆様には、平素より横浜港の振興、発展にご協力を賜りますとともに、防犯キャンペーン、年末の夜間合同パトロール、横浜港内の犯罪防止に係る広報巡回活動など、港における各種防犯活動をとおし、安全、安心な港づくりにご尽力いただいておりますことに厚くお礼申し上げます。

横浜港は、国際コンテナ戦略港湾に選定されてから四年が経ち、本年度を総仕上げに向けた年と位置付け、先進的な施設整備や横浜港埠頭株式会社と連携した貨物集荷策など国際競争力の強化に全力で取り組んでいます。

今年の春には、超大型船の受入に対応した先進的な施設である、南本牧ふ頭MC－3コンテナターミナルの供用を予定しており、また、国道三五七号本牧地区の整備に伴う本牧出口ランプの改良や南本牧ふ頭連絡臨港道路の整備を進める等、交通ネットワークの充実やふ頭間の連絡強化にも引き続き取り組んでまいります。

横浜港の将来を描く港湾計画については、昨年一二月に約八年ぶりの改訂を行いました。今回は、本牧沖に水深一八m以上・岸壁延長八〇〇mを有する大水深・高規格コンテナターミナルと高度な流通加工機能を有するロジスティクス施設を備えるふ頭を新規に位置づけました。また、大黒ふ頭の自動車ターミナルの岸壁を一、一一〇mから一、四〇〇mに延長し、連続バースとして運用できる計画としました。

このような物流の国際競争力強化の取組みに加え、山下ふ頭においては総面積約四七haの広大な開発空間や静穏な水域に囲まれた優れた立地特性を生かし、土地利用転換により、横浜の成長エンジンとなる新たな賑わいの拠点の形成を目指しています。現在、「横浜市山下ふ頭開発基本計画検討委員会」において、外部有識者等から幅広く、ご意見をいただきながら具体的なまちづくりの検討を進めており、海外からも多くのお客様が訪れるオリンピック・パラリンピック東京大会が開催される平成三二年の一部供用を目指し、再開発を推進していきます。

最後になりますが、横浜港防犯協力会の益々のご発展と会員の皆様のご健勝を心より祈念申し上げまして、新年のご挨拶とさせていただきます。

新年のご挨拶

横浜水上交通安全協会
会長　原田　龍次郎

新年明けましておめでとうございます。

横浜港防犯協力会の皆様方には、ご家族共々希望に満ちた輝かしい新春をお迎えのことと心よりお慶び申し上げます。

皆様には平素より、横浜水上交通安全協会の運営につきまして、深いご理解とご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、貴防犯協力会は日頃より犯罪防止のために広報、啓発活動、会社、事業所等への各種防犯活動を積極的に推進され、私達の地域を安全・安心な街づくりに多大な貢献をされていることに対し感謝と敬意を表する次第でございます。

横浜は日本の海の玄関口であり国

壁新聞にご利用ください。

内外の大型客船が寄港する大桟橋国際客船ターミナル、また複合商業施設のワールドポーターズ、横浜赤レンガ倉庫、カップヌードルミュージアムや総合温泉レジャー施設横浜みなとみらい万葉倶楽部等、お子様からお年寄りまで楽しめる施設が充実し、また昨年七月にはスパークリングトワイライトや、八月の花火大会、年末のカウントダウン花火大会等、多数のイベントが開催され多くの人々で早朝から夜遅くまで賑わいをみせております。本年も大規模な各種イベント開催が予定されており貴防犯協力会の皆様の果たされる役割は益々重要性をおび、皆様方のご活躍に大きな期待が寄せられているところでございます。

横浜水上警察署管内では、平成一九年一月から「交通死亡事故ゼロ」を継続しており昨年一一月末現在で連続二、八八二日となりました。

その連続記録を絶やさないためには横浜水上警察署として万全の対策で望んでいただくことや会員の皆様方の熱心なるご協力が必要とされます。

横浜水上交通安全協会といたしましては交通安全を主として、貴防犯協力会はもとより、県・市・中区・警察等関係機関のご指導ご協力をいただきながら、交通ルールの遵守と交通マナーの向上に取り組む事を通じて交通事故の撲滅に向けて努力する所存でございますので、一層のご支援ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

年頭に当たり貴防犯協力会ならびに会員の皆様方の益々のご発展とご健勝を祈念申し上げまして新年のご挨拶とさせていただきます。

新年のご挨拶

横浜市中区長　三上　章彦

新年あけましておめでとうございます。

横浜港防犯協力会の皆様におかれましては、平成二十七年の輝かしい新年をお迎えのことと心からお慶び申し上げます。

藤木会長をはじめ会員の皆様方には、日頃から市政・区政に多大なる御支援、御協力を賜り厚く御礼申し上げます。また、横浜のシンボルである横浜港と周辺地域において、長年にわたり防犯広報やパトロール、キャンペーンなど様々な防犯活動に取り組み、地域の安全・安心に御尽力いただいておりますことに改めて感謝を申し上げます。

皆様の活動範囲は、横浜開港の舞台であり日本の文明開化の礎となった、歴史と文化が息づく素晴らしい地域であり、日本を代表する国際港です。山下公園や大さん橋に続く、みなとみらい地区は、日々多くの観光客をお迎えする国内有数の観光スポットです。

その地域で今年三月に、横浜初の市民参加型フルマラソン大会「横浜マラソン二〇一五」が開催されます。二五、〇〇〇人のランナーが市内外、国外から集い、皆様の街を駆け抜けていくことになります。また五月には、すっかり横浜の名物となりました「二〇一五世界トライアスロンシリーズ横浜大会」が開催されます。臨海部ではこれらのスポーツイベントのほか、各国要人が会する国際会議、花火大会など様々なイベントが開催されてきました。集客力があるイベントが数多く開催されたにもかかわらず、これまで大きな事故もなく、安全・安心のうち、無事に開催できましたことは、日頃から横浜港を熟知し、地域に根ざした皆様の日ごろの防犯活動の賜物と考えております。

魅力溢れ、多くの市民や来街者で賑わう地域であるほど、犯罪や事故の発生が懸念されます。中区といたしましては、引き続き横浜港防犯協力会の皆様と力を合わせ、「明るい港」、「安全な港」そして「誰もが安心と活力を実感するまち中区」の実現に向けて取り組んでまいります。今年もどうぞよろしくお願いいたします。

最後になりますが、横浜港防犯協力会の益々の御発展と会員の皆様の御健勝をお祈りし新年の御挨拶とさせていただきます。

新年のご挨拶

横浜海上保安部長　松尾　映正

新年明けましておめでとうございます。

横浜港防犯協力会の皆様におかれましては、つつがなく新しい年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

また、会員の皆様には平素より、私どもが推進しております海上保安業務に対し、深いご理解とご支援を賜り、心より御礼申し上げます。

さて、海上保安庁では、我が国を取り巻く海洋環境に適切に対応すべく取り組んでいるところでございます。

特に、昨年九月中旬以降、小笠原諸島周辺海域において、中国サンゴ漁船とみられる漁船の確認隻数が徐々に増えはじめ、一〇月三〇日には二一二隻の確認に至りました。

海上保安庁においては、全国規模での運用調整を行い、同海域において大型巡視船や航空機を集中的に投入した特別な体制を整え、違法操業を行う中国サンゴ漁船の取締りを強化しております。

小笠原諸島周辺海域は、本邦から約一、〇〇〇㎞の遠方にあり、領海の面積は約八、〇〇〇平方キロメートルと広大であり、水産庁や東京都とも連携して厳正に対処しているところであります。

このような中、昨年三月には、新造の小型巡視艇「いそづき」が就役し、新たな体制でスタートするとともに、八月には、日本・米国・カナダ・ロシア・韓国・中国の六カ国の海上保安機関が参加する「北太平洋海上保安フォーラム」に伴う多目的訓練を、また、九月には、アジア一三カ国一地域の海上保安機関トップが参加する「アジア海上保安機関長官級会合」を横浜において開催したところでございます。

また、テロ対策については、予断を許さない国際情勢の中、一一月に、横浜港における水際危機管理対応能力の向上を図るため、山下埠頭及び前面海域においてテロ対策訓練を実施しております。今後とも皆様のご協力をお願い申し上げます。

最後になりますが、貴協会の益々の発展と会員の皆様のご健勝を心から祈念いたしまして、新年のご挨拶とさせていただきます。

新年のご挨拶

横浜港運協会　会長　藤木　幸夫

港湾人の皆様、新年明けましておめでとうございます。

昨年はＳｔａｐ細胞の発見という驚きのニュースが一転して我が国の科学研究の信頼性を大きく失わせる事件から始まりましたが、一一月には青色ＬＥＤの発見・発明で日本人三人の研究者にノーベル物理学賞が授与されるというとても喜ばしいニュースが入って基礎研究レベルの高さが改めて証明されました。また、「はやぶさ」が彗星「イトカワ」に到達して輝かしい成果を上げたことは記憶に新しいことですが、第二弾の「はやぶさ2」の発射が昨年末成功し、五二億キロの旅に出ました。六年後の無事の帰還・成果が今から楽しみです。日本のロケット・宇宙開発技術の高さが世界に発信されました。

このような嬉しいニュースがあった一方、社会・経済に目を向けるとマイナス成長が続くなど、二年前に代わった安倍政権によるいわゆるアベノミクスがあまりうまくいってないことが判明し、ついに一〇％消費税の導入をあきらめるに至り、衆議院の解散総選挙へと突き進む結果となりました。さらにアジアにおける近隣諸国との関係改善もさしたる前進が見られないままになってしまいました。新たに小笠原諸島や伊豆諸島周辺の日本の領海および排他的経済水域に中国漁船が大挙して押し寄せ、赤サンゴを密漁するというとんでもない侵害事件が発生、未だに続いています。海上保安庁は昨年この内の一隻を拿捕して横浜港に曳航しました。

世界的には、ウクライナ危機、中東ではシリア内紛がついにはイスラム国という、これまでに見られなかった国境を持たない新たな宗教国家を標榜するイスラム教過激派集団が誕生しました。イスラエルとパレスチナ自治区ガザ地区との間の紛争も絶えません。北朝鮮の拉致問題は相変わらず解決の目途が立っていませんし、まさに混迷と混乱の時代の真只中にあると言っても過言ではありません。

二〇一一年に発生した大震災・福島原発事故による甚大な被害は三年以上経過した今でも残念ながら完全復興には至っていません。また、気象庁・国の発表によれば、さらに東南海区域などでの連鎖したＭ９クラスの南海トラフ巨大地震の発生が予測されています。御嶽山の突然の噴火に始まり、我が国の火山が活動期に入ったとも言われています。港においては地震に続く津波、火山の降灰などにも警戒しなければなりません。横浜港を取り巻く環境も例外ではありません。このような時勢だからこそ自分たちの安全を保つにはまず自分で守ることが基本です。普段からの防犯・防災の気構えと準備こそが重要です。

本年も横浜港保安協会、横浜港防犯協力会、さらに神奈川県警察本部、横浜海上保安部、横浜税関、横浜検疫所などとの縦横斜めに亘る連携と我々港湾人さらには横浜市民が一体となって「みなと横浜」を守って行きましょう。

横浜港湾人の皆さん、安全安心な横浜港構築に貢献していこうではありませんか。是非ご協力をお願いすると共に、本年の皆様のご多幸とご健勝を祈念致します。

謹賀新年

公益社団法人　横浜港防犯協力会

顧問　藤木幸夫
〃　田端彰夫
〃　花島孝明
〃　藤木幸太
〃　原田龍次郎
〃　酒井英治
〃　笹田照近
〃　今田勲
〃　井上幸仁
〃　榊原宏二
〃　吉岡啓
〃　岩田利夫
〃　福田幸久
〃　外園賢治
〃　鈴江孝裕
〃　菅井克枝
〃　藤木幸三
〃　小林誠司
〃　坂上実
〃　齋藤義孝
〃　三尾勝
〃　藤木幸彰
〃　井出幸夫
相談役　三上章彦
〃　永野淳一郎
〃　森崇
会長　藤木幸太
副会長　小林誠司
〃　野田秀夫
〃　松本雅己
〃　片倉宏昭
常任理事　武居大輔
〃　坂上実

個人（賛助）会員

（順不同・敬称略）

諸官庁ならびに諸団体より寄せられました年頭の挨拶掲載は紙面の都合上順不同となりましたことをご了承いただきます。（編集部）